

岡山県合唱連盟機関紙  
トゥッティ 第17号

発行責任者：岡山県合唱連盟  
事務局長 内田 毅  
事務局：岡山市福泊168-7  
TEL/FAX (086) 274-2726

# Tutti

## おめでとう 近藤理事専任 中国支部部長に

事務局長 内田 毅

去る一月二十三日、中国支部理事会が広島で開催されました。その席で水嶋支部長がご勇退になり、後任の支部長には我が県連理事長近藤先生が満場一致で選出されました。

水嶋先生には中国コンクール、全日本合唱コンクールと大変にお世話になりました。今後も合唱連盟発展のためにお力添えをお願いしたいと思います。さて、近藤先生にはおめでとうございませう。糸賀先生以来十年ぶりに岡山から支部長が出ることにあります。岡山県連としても大変に喜ばしいことでありませう。と同時にこれからは支部長のお膝元としての自覚が求められます。

先生に支部長として、また全日本の理事として存分に力を発揮していただくためにも、我々がしっかりと上台を固めておかななくてはなりません。十台が大きくなりつつありとしているほど高い建物が建つのです。

その上台とは、いかに活発に活動しているかと言うことです。数字で現われるものとしては、連盟の会員数であり、各種大会の参加団体数であります。そしてさらに言えば、維持会日獲得数やハイモニー購読数でも判断できるでしょう。(この件については「うっちやん通信」をみてください)

自分達の県連であり、中国支部である、全日本合唱連盟であるという意識を持って我々の代表としての理事長を支えていこうではありませんか。なお、副支部長には山口の末廣先生が就任されます。

中国各県の理事長をお知らせしますと、  
鳥取県：谷口 十三生 先生  
島根県：三原 重行 先生  
広島県：山本 定男 先生  
山口県：末廣 正巳 先生

最後にになりましたが、近藤理事長の支部長就任にあたり、中国支部事務局長が私のところにやってきました。微力ではありますが、一生懸命務めさせていただく所存でございます。今までに増してどうぞよろしくお願い致します。



## アンコン大成功!

去る二月六日、第一回岡山県ヴォーカルアンサンブルコンテストが開催されました。中国・四国・九州では島根県に続いて二番目の開催であります。

当初の予想を大幅に上回る五十団体の参加があり、開始時間を繰り上げるなど嬉しい結果となりました。アンサンブルの楽しさを、聴く方も歌う方も満喫出来たのではないのでしょうか。またこのような発表の場を皆さんが待ち望んでいたことが想像出来ます。

審査員の先生にはクラシックもポピュラーもごちゃ混ぜで評価をお願いしました。大変お困りの様子でありました。しかし、お祭りの一面を考えれば余り細分化しないほうが良いと思えます。

最優秀団体に贈られる「グランプリ」には「清心小町」(上の写真)が選ばれました。清心女子大グリーンのメンバーで美しいハイモニーを聴かせていただきました。おめでとうございませう。お世話にまわった理事連もウズウズして「来年は理事だけでグループを組んで参加しよう」と話が弾んでいました。お祭りなので、もちろん余興で歌ってみたいですね。(もちろん余興で)

歌ってみたい、聞いてみて何か気付かれたことがあります。お知らせ下さい。より楽しいものにしたしたいと思います。

・お・詫・び・

倉敷市民合唱団の皆さん、ごめんなさい。合唱団めぐりを予告しておきながら、手違いで行きませんでした。お詫びします。次号は大学を予定していますので八月発行の号で伺いたいと思います。

どうぞそよろしく

(新しく加盟された  
合唱団の紹介です)

総社少年少女合唱団シニア

団長 山田 瑞穂

この度、岡山県合唱連盟に加盟させていただきました。より多くの歌う場を求めての加盟でしたが、予想以上に刺激も多く、機関紙なども大変ためになっており心から感謝しております。

私達シニア(中高一)の部の発足は一昨年四月、ジュニアで育んだ歌の楽しさをさらに高めていきたいとの数名の純粋な心でスタートしましたが、当初は人数も少なくどこまで定着していくかとても不安な状況でした。しかし、一人ひとりの歌に対する情熱が多く、仲間の共感を呼び、今では十八名。そしてジュニアの子供達からも小学校を卒業してもシニアで歌いたいという声の聞かれだし、少しずつ一つの努力が結実してまいりました。

部員達は学校での部活動との両立がほとんど。皆大変な状況の中で何の被れた様子もなく、いつも明るく笑顔を見せて一生懸命頑張っています。とても頼もしい限りです。まだまだ力不足ではありますが、歌の心を大切に、未来に向かって、着実に歩んでまいりたいと思えます。

※予告※

5月発行の合唱団めぐりは、「コーロロークラス」と「清心グリー」を訪問する予定です。

川崎医療福祉大学混声合唱団

渉外部長 山崎 貴史

私達の合唱団は今年で創団四年目を迎えます。合唱連盟には昨年加盟しています。

合唱団の特徴は、福祉系の大学ということもあり、とても女性が多いことです。男性が少ないのが唯一の悩みです。そのため岡山理大のクリスタルコーロの方に練習に来ていただき充実した活動をしています。去年は川崎学園祭に参加してコンサートで準優勝という好成绩を納め、また十二月にはクリスタルコーロの定期演奏会に賛助出演させていただきました。微力ではありますが合唱団らしい活動が出来たと思います。

いよいよ今年も川崎医療福祉大学も完成年度を迎えます。私達も豊かにも完璧な合唱団作りを目指し、学外でも十分に対応できる力をつけたいと思います。当面の目標として第一回定期演奏会を年内に開催したいと思えます。

合唱団としてはまだまだ未熟な点がたくさんありますが、今後ともよろしく願います。

岡山県高等学校合唱講習会を  
振り返って

倉敷中央高校 白神 祐子

県教委、県高校芸術連盟、県高校音楽協議会主催による表記講習会が、昨年十一月二十八日(日)、山陽女子高校上代記念館において、近藤合唱連盟理事長を講師にお招きし行われた。講習内容は、萩原英彦作曲の「白い木馬」より、混声合唱Ⅳ「小さな詩」、女声合唱Ⅱ「ゆきんこが遠い空から」を題材とし、岡山芳泉高校、岡山城東高校、倉敷中央高校、玉島高校、総社高校、高梁高校、山陽女子高校、倉敷翠松高校、金光学園高校、以上九校の合唱部により編成された合同モデル合唱団、総勢約百十名を使ったものであった。

モデル合唱団にもかかわらず、先生の最初の振りから声がよくまとまっているように思えた。反応も敏感でそれに応じて先生の指導も徐々に熱の人ったものになっていく。牛とは勿論のこと、会場内の全てのものがどどん先生の音楽の中へ引き込まれていくようだった。音楽が一つの大きなうねりとなって時間と共に流れる。ある時はガラス細工のように繊細に、ある時は大地をも揺るがす如く大胆である。

また、この作品「白い木馬」が世の出るまでの背景を自ら求め続け、探求された先生もその姿勢に音楽に對する情熱を見、自らの日々の勉強不足を思い知らされた。

伴奏をさせていただくことになった時、私自身それ相応の覚悟をしていったつもりではあったが、細かなタッチの違いによって起こる音の明暗、色の移り変わりなど先生のきび

しいチェックが飛んできた。久しぶりに目が覚めたような心地よい緊張感があった。音楽でしか味わうことの出来ない喜び、充実感を持った。と同時に妥協を許さない先生の音楽に對する真剣さを改めて感じる事が出来た。ありがたかった。

こうして講習会は終わった。どの顔も充実感、満足感からか幾分紅潮しているかのように見えた。また是非近藤先生を講師にお招きし、御指導をいただくことが出来ればと強く思いつつ会場を後にした。

ハーモニを  
生かすので、冬、日々

冬号は秋に行なわれた全日本合唱コンクールの特集であった。詳しい批評の数々であった。それよりも興味をひいたのは冒頭のページの外務大臣 羽田氏のエッセイである。「コーラスとは麻葉のようなもので、そして革命的なもの」と言う表現がおもしろい。確かに麻葉なのかも知れない。私達は一度そういう体験をするととりつかれてしまう。そして足しげく通うことになる。

また「ソ連の圧制に耐えていた頃、街角で三々五々集まりコーラスの輪が広がった」と言うのも興味深かった。感情を歌にすることがコーラスの真髓なのであろう。肝に銘じておきたいことである。

最後に、全日本合唱連盟が赤字と聞く。皆様、その刊行誌のハーモニをどどん読みましょうネ。  
旭川荘ゆずり楽合唱団  
岡村 みどり



大丸実大しした  
北指揮法法講習会  
・ぜひ定期開催を・

玉野市民女声合唱団  
コール・ゆうぶんげん

高野 敦

去る十二月十一日、岡山シンフォニーホール第一スタジオに於いて県連初の試みである指揮法講習会が行われた。

当日は県内各合唱団、小中高校の指揮者、指導者、音楽の先生が多数参加し熱気でいっぱい。講師は東京の合唱センターの講習会でも定期的に講師を務められている、日本合唱指揮者協会会長の佐々金治先生なのですから当然だ。

わずか四時間余りの講習でしたが、小澤征爾、秋山和慶など現在世界的に活躍している指揮者、演奏家を育てた故斎藤秀雄氏直伝の「たたき」「しゃくい」「はねあげ」などの基本打法に始まり、「たたき止め」などの高度なテクニックまで、先生の明快な棒を見ながらの練習は大変に充実した時間であった。

後半はシュベルト「團圓曲」、ハイドン「驚愕」など、大池先生のピアノを使つての实地練習。私も個人指導をしていただきましたがなかなかうまくいかないもの。「はねあげ」など多くの欠点を指摘していただいた。

今までも斎藤秀雄著『指揮法教程』を始め色々な本を見ながら勉強していたつもりですが、やはり指揮の勉強は実際の先生の棒の動きを見、そして自分の振りを見て貰いながらでなくては。今回のような講習が毎月とまではいかないものの年に一回定

期的に開かれることを切に願っています。  
今回の講習会を開くに当たりご尽力いただいた近藤先生始め県連関係者の皆様に深く感謝しています。



### 合唱団めぐり

#### 文化センター合唱団

去る一月二十五日(火)、新人の私たちが二人は初めての取材にドキドキしながら、Y先輩と一緒に文化センターへ伺いました。「発足について」  
「県民の音楽活動を盛んにしたい」という目的で、岡山県総合文化センターの呼びかけにより「文化センター合唱団」が創立されました。昭和四十年のことです。  
【団の悩み】  
男性が少ないこと、だそうです。  
「女性が多いということは団の中が華やかで良いと思いますよ。」  
【団のモットー】  
広げよう合唱の輪  
深めよう心の輪

【今後の課題】  
来年の第三十回記念定期演奏会に向けて男声の人数を増やしたい。  
男声が増えることによって、女声も安心して歌うことが出来、上まくなるでしょう。  
【今後の活動】  
三月十九日(土) 高野敦と  
教子たちのコンサート出演  
五月二十一日(土)  
第二十九回定期演奏会

文化センター合唱団の皆様方は、明るく優しくそんな方ばかりで、和やかな感じのグループだと私は思いました。この取材のために貴重な練習時間をわざわざ割いていただきましたありがとうございます。  
第二十九回定期演奏会に向けて頑張って下さい。



#### 我が団の有名な人コーナー

名前：内田 毅 (うちだ つよし)  
生年月日：昭和25年4月17日  
星座：牡羊座 血液型：O型  
出身地：岡山県川上郡備中町  
パート：テナー  
合唱歴：25年  
切實からみた内田さんは、  
「生真面目でおもしろい人」  
「ちょっと見はこわい人」だそうです。  
親は優しいのでしょうか？  
「合唱をやめたいと思ったことがありますか」という質問に、「歌をやめたいと思ったことはありません」と答えていただきました。  
合唱連盟の事務局長として、私たちのお世話をいただいています。お忙しいとは思いますがこれからも頑張って下さい。



#うつつちやん通信10b

先日のアンコンでは皆様たいへんお世話になり、ありがとうございます。おかげ様で大成功の内に終了することが出来ました。初めての備しでしたので色々とお氣付きの点もあろうかと思えます。理事、あるいは事務局までご意見、ご感想をお寄せ下さい。

さて、理事長と事務局がどうしたものかと頭を悩ませている問題があります。それは「ハーモニー」の購読数です。

全日本の理事会では各県連ごとにデータが示されます。その中でノルマ的数値として達成率が示されるのが維持会員数とハーモニー購読数。維持会員はこのところ達成率二百%です。問題はハーモニー購読数です。ハーモニーは達成率七十%程度と全国的にも低い方です。

これをいかにして上げるか。結論はただ一つ、皆さんに数多く購入していただくことです。全日本では夢としては一人一冊購読を目標していますが、現実には一団休当りの購読数を決めて各県連の目標数としています。

六年度の県連の割当目標数は四百三十二冊です。それに対して五年度の購読数は三百十冊しかありません。単純に割算すると各団一冊ずつ多く購読していただければ達成できるのですが、私としては安易に各団に要望はしたくありません。先ずは数年お願している各団への購読希望数を達成していただきたい。高校・大学・少年少女は五冊、職場・一般・おかあさんは7冊が希望数です。希望数に達していない団体が二十八団体ありますので、この

方々には今年度ぜひ達成していただけるよう希望します。また、現在達成されている団においては一冊でも上乗せ出来るようにご協力をお願いいたします。また数多くの団員を抱えておられる団においてはそれ相応のご協力をいただいで、少人数の団の負担を軽くしてあげていただければ連盟として喜ばしいことだと思います。

私としては四人で一冊購入して回し読みすると、全団が年間六百六十冊負担することになり、連盟全体では五百冊を越える購読数になる、と提案します。さて、次に平成六年度の事業計画をお知らせしておきましょう。総会で承認を受けていませんが会場予約の都合で決定しています。合唱講習会が最初の事業になります。少し説明しておきましょう。基本的にはコンクール課題曲の講習となりませんが、課題曲と関係なく近藤先生の混声合唱、女声合唱の講座も設けます。中学生対象の講座も検討しています。

課題曲集は三月には入荷します。事務局長までお問い合わせ下さい。来週をお見舞いします。詳しくは後日。総会は四月十日の予定です。これも改めてご案内いたします。

(事務局長 内田)

- 5月14日(土) 15日(日) : 全日本合唱講習会中国会場 (倉敷市児島文化センター)  
 6月 5日(日) : 第47回岡山県合唱フェスティバル (岡山シンフォニーホール)  
 7月10日(日) : 第17回おかあさんコーラス大会中国支部岡山大会 (岡山市立市民文化ホール)  
 8月20日(土) 21日(日) : おかあさんコーラス全国大会 (京都市・京都会館第1ホール)  
 8月28日(日) : 第47回岡山県合唱コンクール (岡山市立市民文化ホール)  
 9月23日(金・祝) : 第33回中国コンクール<中学部門> (倉敷芸文館)  
 10月 8日(土) 9日(日) : 第33回中国コンクール (鳥取市・鳥取県民文化会館梨花ホール)  
 11月25~27日(金~日) : 第47回全日本合唱コンクール (金沢市観光会館)  
 平成7年2月12日(日) : 第2回岡山県ヴォーカルアンサンブルコンテスト (三木記念ホール)

## コ ン サ ー ト 情 報

- ◇ 高原景介教え子たちのコンサート (文化センター合唱団)  
 日 時 : 平成6年3月19日(土) 午後2時開演  
 会 場 : 岡山シンフォニーホール (岡山市表町)  
 曲 目 : 美しい三人の姉妹 (水瀧清子作詩/高原景介作曲)  
 他の出演者 岡山東商業・岡山操山・岡山城東各高校の吹奏楽部/フェスティバル吹奏楽団  
 入 場 料 : 1,000円

- ◇ 文化センター合唱団第29回定期演奏会  
 日 時 : 平成6年5月21日(土) 午後6時半開演  
 会 場 : 岡山県総合文化センター (岡山市天神町)  
 曲 目 : 美しい三人の姉妹 (高原景介作曲)・島よ (大中 忍作曲) 他  
 入 場 料 : 1,000円

- ◇ ノートルダム清心女子大学グリークラブ/京都大学グリークラブ  
 JOINT CONCERT  
 日 時 : 平成6年3月11日(金) 午後6時半開演  
 会 場 : 西川アイプラザ  
 曲 目 : 水のいのち (高田三郎作曲)  
 入 場 料 : 500円